

# 真崎地区 自治会だより

No.29

発行 令和2年2月25日  
編集 真崎地区自治会  
(企画・総務部会)  
電話 ☎283-4477  
真崎コミュニティセンター  
mas-comi@vill.tokai.ibaraki.jp

## ごあいさつ



真崎地区自治会 会長 大内 隆彦

令和初めてのよき新春をお迎えになられたことと拝察いたします。おかげさまで真崎地区自治会の各専門部会は、行事を予定どおり実施することができ、子供たちから高齢者まで幅広い年代層での交流を図ることができました。

村松小学校コミュニティスクール(C.S)は、2年目を迎え、地域の高齢者の生き甲斐作り、認知機能の低下防止等や、小学生との交流を目的に楽しく開催されています。通学路の立哨、ミシン学習、長寿ふれあい敬老会、三世代交流会、書初め等の多くの行事で子供たちと素敵なふれ合いができました。子供たちを地域で育てる事を目標としてこれからも継続して行きたいと思っております。

昨年は自然災害が多く発生しました。台風19号は県内の各地に大きな爪痕を残し、東海村でも久慈川の堤防が越水する危険性が出て、真崎コミセンに約30名の方が避難し不安な一夜を過ごしました。我々が住んでいる所は、歴史の中でも水害は無くこれからも安心して住める地域ですが、生活面では高齢化の進展、自治会加入率の低下、班(常会)の活動の縮小もあり、以前と比べると地域で住民同士が触れ合う機会が少なくなっています。また、人材不足も懸念されます。

これからは住民ニーズが多様化する中、地域住民同士が無理なく参加、協力しあえる地域活動を目指したいと思っています。

## ワクワクFOODフェスティバル2020を開催します！

恒例の「ワクワクFOODフェスティバル2020」を開催いたします。今年で13回となり、多くの皆様楽しんでいただけるコーナーをご用意いたしました。FOODコーナーでは手作りのカレー、豚汁、お赤飯などの販売を行います。また、村松小吹奏楽部の演奏、東海太鼓のアトラクション、豪華景品が当たる大抽選会などを企画し皆様のお越しをお待ちしています。ご家族、ご友人お誘い合わせてご来場ください。

- 日時 令和2年3月7日(土) 午前10時～午後2時
- 会場 真崎コミュニティセンター(雨天決行)
- FOOD カレー、豚汁、お赤飯、焼きそば、コロケ、珈琲、たい焼き、フランクフルト、おでん、クッキー、わたあめ、ポップコーンなど
- 催事 革工芸教室、包丁研ぎ、紙飛行機・竹トンボ作り、バルーンアート、村松小吹奏楽部の演奏、東海太鼓、大抽選会など
- 同時開催 とうかい環境村民会議によるパネル展示



### 目次

- ・ごあいさつ/FOODフェスティバル… 1
- ・第7回防災訓練… 2
- ・役員会及び各専門部会の活動報告… 3
- ・真崎地区社会福祉協議会… 4～5
- ・青少年育成東海村民会議村松支部… 6～7
- ・地区内の活動紹介… 8

# 第7回 防災訓練 (10月19日)

昨年10月に第7回防災訓練を実施いたしました。「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、いつ起こるかわからない想定外の災害に備え訓練を行いました。当日は雨天のため一部予定を変更し、初期消火、発電機操作、車いす体験、傷病者の搬送、AED取扱訓練、炊き出しなど多くの訓練を体験し、防災意識の高揚を図ることができました。

事前にできることを日々積み上げていくことが、災害時に少しでも危険要因を減らすことができ、また、あわてずに行動できるようになります。今後も継続して実施いたしますので、積極的にご参加ください。

「シェイクアウト訓練」は、どこでもその場で動作を行い、安全確保行動を身につけるものです。今回は前年を上回る280世帯、618名の参加申込みがあり、安全確保に対する意識の強さを感じました。

また、防災訓練の他、交通安全や防犯パトロールを行い、子供や高齢者を地域で見守る活動にも積極的に取り組みました。



負傷者運搬訓練



車いす体験



初期消火訓練



炊き出し



AED取扱訓練



発電機操作訓練

# 役員会及び各専門部会の活動報告

## 地区自治会役員会及び運営委員会

### 水と緑のある 安心して心豊かに生活できるまち

総会で承認された事業計画に従い、月例役員会で、地区自治会の行事の計画立案や地域の課題について話し合っています。11月には単位自治会と共催で「認知症予防講座」を開催するなど、地域と密着した行事も企画しました。これからも、地域活動の活性化を目指し取組んでまいります。



真剣に認知症予防講座を受講

## 農・工・商部会

### 地域連携による豊かな生活ができるまちづくり

地区内生産者の方の野菜販売を、毎月第3水曜日（8、12月除く）に真崎コミセン玄関前と舟石川三区集会所で行い、地区内のイベントにも参加しています。また、野菜の販売を希望する方を募集していますので、事務局までご連絡をお願いいたします。

\*行事の都合で開催日が変更になる場合があります



朝市の様子

## 建設・環境部会

### 花と緑に囲まれた、快適で環境にやさしいまちづくり

地区内9ヶ所の花壇に、毎年春と秋に季節の花を植栽しています。11月に建設・環境部会員、地域の団体、子供会の皆さんにご協力いただき、古い花苗や雑草を抜いた後に、パンジー、ピオラ、ノースポールを約1,500株植付けました。また、FOODフェスティバルでは環境についてのパネル展示、環境に関するクイズを行い環境意識の高揚に務めています。

これからも優しい環境づくりを続けていきます。



花苗の植栽



環境についてのパネル展示



## 企画・総務部会

### 地域を愛し、人がつながるまちづくり



企画・総務部会の様子

企画・総務部会では「地区自治会だより」の企画、編集を行い年3回発行しています。地区内の行事の案内や地区自治会の専門部会、各団体の活動や紹介等、身近な情報をお伝えしています。地域の話題をたくさん掲載しますので、皆さんからの情報やお便りもお待ちしています。

「食」をテーマの中心とした「FOODフェスティバル」は、今年で13回目を迎え真崎地区の恒例行事となりました。伝統を大切にしながら新しい企画を加え、楽しいイベントになるよう部会員全員で盛り上げます。

福祉  
部会

## 真崎地区社会福祉協議会

### 長寿ふれあい敬老会

R 1.9.18 (真崎/荒谷台区)、11.20 (舟三区)

人生の先輩である高齢の方に対し、今後の健康と長寿をお祝いすると共に、日頃からの感謝の意を含め「長寿ふれあい敬老会」を真崎コミセンと舟石川三区集会所の2か所で開催しました。

真崎コミセンでは、「一緒に踊ろう～エンカサイズ～」で体を動かし、村松小学校2年生の児童の皆さんのかわいい歌声や、心のこもった手紙のプレゼントで楽しい一時を過ごしました。舟石川三区集会所では、区内の皆さんによるやコーラス、二人羽織、演芸「麦畑」などの演目に大いに盛り上がりました。いつまでも元気で健やかに過ごしていただくことを願っています。



村松小2年生の発表



お手紙のプレゼント



手作りのお赤飯でお祝い



名監督演出「麦畑」



ひまわりサロンのみなさん



爆笑の二人羽織

### 世代間交流会 (小学生と高齢者の交流会)

R 1.10.16

子供たちへの地域文化や伝統の継承、高齢者の社会参加や生きがいづくりを目的に、地域の75歳以上の高齢者と村松小学校4年生児童、先生、PTA役員、社協関係者が参加して、真崎コミセンで世代間交流会を行いました。子供たちからは歌や手紙のプレゼントがあり、学校で習ったシルバーリハビリ体操を一緒にやりました。高齢者からは生活や農業に使った昔の道具を子供たちに実物を見せながら説明しました。

昼食の準備は子供たちも配膳を手伝い、食事後はクイズやジャンケン大会をとおして会話が弾み、交流を深めることができました。



唐箕の実演に興味津々



一緒にシルバーリハビリ体操



昔の道具で体重測定

## 第2回健康ウォーキング

R 1.11.8

保健部会では、健康維持、増進、リフレッシュのための「健康ウォーキング」を年間3回企画しています。

第2回目の今回は、村社協のバスを利用し笠間方面へ出かけました。秋晴れの気持ちの良い日に、34名の参加で元気よくウォーキングしました。

茨城県陶芸美術館を見学後、笠間芸術の森公園→ギャラリーロード→笠間稲荷神社→日動美術館駐車場までの約3.0kmを歩くコースでした。稲荷神社では菊まつりも開催中で、門前通りを自由に散策し、1日満喫してリフレッシュできました。



茨城県陶芸美術館



ギャラリーロード



笠間稲荷神社

## ふれあい協力員研修会 (調理担当者研修)

R 1.12.20

ふれあい部会では調理担当者研修を年2回実施し、ふれあい食事会や敬老会、世代間交流会での安全でおいしい食事の提供に役立てています。保健センターより講師の先生をお招きし、「フレイル予防のための食事と栄養」について講話いただき、続いて調理実習を行いました。

今回の調理実習は、中華風ちまき、ブロッコリーと海老の炒め物、白菜の甘酢あえ、白玉と肉団子と菜花のスープ、カシューナッツの餡からめの5品に挑戦しました。メニューの準備と調理、工程を考えながら手際よく作業して、時間内に完成しました。作った料理はみんなでおおいしくいただきました。



講師の先生の講話



男性陣も頑張ってます



今回のメニューです

**「チャレンジ99クラブ」に入りませんか？  
みんなで認知症を勉強し、健康寿命を延ばす会です！**

問合せは、真崎地区社会福祉協議会事務局（真崎コミセン内）まで  
**TEL 283-4477**

教育部会

## 青少年育成東海村民会議村松支部

教育部会は、地区小中のPTA（先生と保護者）と共に、青少年育成村民会議を運営し、様々なイベントを通じ、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図ることを目的に活動を進めています。

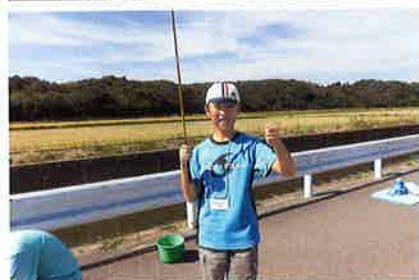
### 釣り大会

10月5日(土) 参加者総数 159名

中央排水路

今年も恒例の釣り大会を開催しました。天候に恵まれ、釣りにはちょうど良い陽気になりました。集合時間前に集る釣り好きな子供たちもあり、開始時には沢山の子供たちと保護者が集りました。9時15分の合図とともに子供たちが一斉に目当ての場所へ移動し、釣りが始まりました。すぐに釣れた人、あたりはあるけどなかなか釣れない人、同じ場所でじっと頑張っている人、頻りに場所を移動し良いポイントを探す人等、子供たちの個性に合わせた色々な様子が見て取れました。釣りは11時15分に終了し、計測結果をまとめました。参加児童55名のうち釣れたのは27名と約半数になりましたが、そのような中でも45cmの大物を釣り上げた2年生の男の子や26.5cmを釣った4年生の男の子の他、26.1cmを釣り上げた1年生の男の子が大物賞を獲得しました。また、大漁賞は、20匹を釣り上げた5年生の男の子と、9匹を釣った5年生の男の子、8匹を釣った3年生の男の子が獲得しました。今年は、低学年と男の子の入賞が目立ちましたが、釣竿を握ったことがない児童も楽しんでもらえたと思います。子供たちが身近な自然に触れることで、自然の大切さや環境への関心が高まれば素晴らしい事だなあと感じました。

参加者の皆様、運営スタッフの皆様、計測係で大活躍の高校生会の皆様、賞品の高級竿を提供して下さいました佐藤房明さん、イベントを応援して下さいました皆様、ありがとうございました。



# 餅つき大会・しめ飾り作り

12月14日(土) 参加者総数 約220名  
真崎コミュニティセンター

暖冬傾向にあると言われる今年の冬を象徴するかのように、穏やかで暖かい陽気のなか、年末恒例の「餅つき大会・しめ飾り作り」を開催しました。前日から多くの皆様に集まっていただき、材料のごしらえと会場準備を行いました。当日は、朝から滝坂住宅の皆さんを中心にかまどに火を起こし、3台の蒸籠で次々ともち米を蒸かし、大釜1台で豚汁を作りました。若いお父さん達は、地域の方の指導の下、慣れない手つきで杵をふるって餅をつき、子供たちも楽しそうに何度も並んで餅をつきました。高校生会のボランティアも一生懸命手伝ってくれました。多目的ホールでは、シルバー人材センターの指導員さんの指導の下、22組の参加者がしめ飾り作りを行いました。簡単な作業ではありませんが、根気よく縄を編み、飾り付けをし、新年を迎えるための日本の伝統的な年越し行事を、三世代の住民が一緒になって体験し、楽しむことができました。会場では他にも朝市の皆様による採れたて野菜の販売が行われ、地域の住民の良い交流の場となりました。行事に参加した皆様、協力して頂いた沢山の皆様、ありがとうございました。



青少年育成東海村村民会議村松支部の事業に日頃からご協力いただきましてありがとうございます。村松支部は、自治会員（教育部会員）、PTA役員、学校教員で構成され、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図ることを目的に活動しています。この事業は、地区内の皆様の一世帯300円の会費などを基に運営されております。

## 地区内の活動紹介

### ちょこっと隊（舟石川三区）

「ちょこっと隊」の出発点は、蛍光灯や電池切れの時計など高所のために交換ができない高齢者が困っているという話から、「我々もいずれ同じになるはず、だが同じ高齢者でも今ならお手伝いできる」という発想から始まりました。現在、発足してから5年が経過しますが、隊員10名にて活動しています。主に資源ごみの搬出、機器類の簡単な補修、庭木の毛虫退治や枝落としや除草等々の作業を行っています。

また、最近では、高齢者からの依頼のみではなく、舟石川三区の共有施設類の保全、隊員間の相互援助等も含め、月平均7件の依頼に対処しています。今後は、各隊員の現職時代に習得した特技を活かし、さらに技量の有効活用を図っていきたくと考えております。



### まさき会（真崎区）

今年度の活動は、初めての試みとして4月末に真崎古墳群の中央広場において「花見の会」を提案し、古墳群の一部土地所有者の方々、区内各種団体、そして山田村長をはじめとする役場関係者の皆様をお誘いし、総勢100名を超える仲間が、すっかり葉桜になった木の下で、手料理や飲み物を持ち寄って楽しめました。

また、自治会行事へ参加の他、真崎十字路脇の花壇及び村松小学校脇のピオトープの整備を行い、地域の美化運動を継続しています。



### 【編集後記】

昨年12月初旬にNHKで放送された「体感 首都直下地震ウィーク」シリーズをご覧になった方も多かったかと思います。巨大地震あなたの町の“地域リスク”と題して、地域防災にも切り込んでいました。何よりも事前の防災に対する計画と訓練が第一とされる中、地域のお祭りが大切と記憶しています。いざというときの柔軟性に富んだ対応は、日ごろの繋がりに裏付けられた地域力が必要かと思えます。

今年も年が明けて、地区自治会を中心に各自治会や地域団体の皆さんと一緒に取り組む「FOOD フェスティバル」の準備が進んでいます。このお祭りを楽しみながら、人と人、地域と地域の心を結びつける地域力を高めていきましょう。【H.M.】

\*このたよりは、村の地域づくり推進事業、真崎地区社会福祉協議会、青少年育成東海村民会議村松支部の補助金等によって発刊しました。